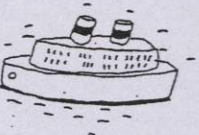




たび
そうだ、旅にしよう



エルネスト (E.シ)
 ーたびする いぬのものがたりー
 ヨッヘン・シュトカー・アマン / 作・絵

エルネストは、うまれたときからこのまらに
 すんぞいて、どこにもいったことは ありません。
 ある日、エルネストのところに、いまいのえはがきが
 とどきました。見たこともないもじと、はじめて見
 けしきのしゃしん。エルネストは、このえはがきが
 どこからきたのか、しりたくになりました。
 でも、ゆうびんきよくへいって、でんしゃぼもに
 きてみても、どこからきたのか、わかりません。
 エルネストは、ますます しりたくになりました。……



(E.サ)

「ピリカ、おかあさんへの旅」
 越智典子 / 文 沢田としき / 絵

ピリカは、魚のさけ、北の海にいら
 いました。ある日、ゆめをみていたピリカ
 は、だれかのよび声がして、目をさました。

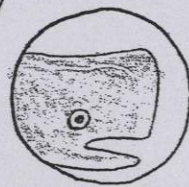
「だれかが よんでいよよ。」
 ほかのさけたら、空を見上げて、こ
 ういしました。そして、むれとびつて
 およぎだしました。

何日も何日も およぎつづけて、ピリカは
 ようやく 海から 川へ やってきました。……

秋に川をのぼり、おかあさんのに
 めぐりあえたさけは、こんどは自分が
 たまごをうんで おかあさんとなり、
 ふりさとの川で 命を終えます。

いのちの旅は おわりです。

自然の、とてつもない大きさや
 はたしなくめぐるいのちの力を
 しみじみと 感じさせてくれる
 本です。



「いいたび ボンボン」 (E.ワ)
 山下明生 / 作 渡辺三郎 / 絵
 “ボンボヤージュ”ってことばを
 聞いたことがありますか？

フランス語で『いい旅を！』といういみださうです。
 ぼくがきたら、ママが そうおしえてくれました。

パパがでかけたあと、あそんでくれないママを
 のこして、ぼくもたびにでることにしました。
 いそがしくないママをさがすためです。

ぼくは、ちきゅうぎとぼうえんぎょうをもって、
 ベッドのふゆにのりこみました。さあ、出発！
 「いいたび ボンボン、いいたび ボンボン！」

「海をわたる ツル」
 増田辰樹 / 写真・文 (E.マ)

日本では、ふしぎなツルを見ること
 ができます。そのうち、ナベツルとマナヅルは
 冬のあいだ、日本へやってくるツルです。
 写真家の増田辰樹さんは、九州の
 出水平野にやってくるツルを写真にとりました。
 田んぼに一方羽もあつまるツル、えさをたべたり、
 あそんだりするツル。そして、海をわたって旅をする
 ツル…… ツルたちの鳴き声や羽ばたく音が
 きこえてきそうだな、とても
 美しい本です。



(E.ジ)

ジラルド / 作・絵

「フリッチス ふしぎな色の旅」

“フリッチス”これは、色のなまえです。
 赤くもないしきいろでもない、青ともちがう
 ふしぎな色です。

フリッチスは、どんな色なのでしょう？

色えんぴつの中にはありません。

色とりどりの春の公園にも見あたりません。

どこをさがしても、だれにも見つけてもら
 ない色なのでしょう。

フリッチスは、たびにでました。

世界のどこかに、自分にぴったりの場所が
 きっとあるはず……

さて、フリッチスは、見つけられるので
 しょうか？